

北薬玉珠

北薬国保 第123号 平成31年 4月



超ビッグなからくり鳩時計塔 果夢林

写真提供/北見支部

目次

平成30年度第1回組合会……………	3～7	平成29年度医療費多額被保険者一覧……………	17
事業者健診データご提供のお願い……………	7	保健事業の状況(ドック利用状況)……………	18
平成29年度事業報告書……………	8～10	特定健診・特定保健指導実施状況平成26～29年度…	19
ニセコひらふ泉郷レンタルコテージご案内……………	10	医療費通知・ジェネリック差額の通知……………	20
平成29年度歳入歳出決算書……………	11～13	健康家庭表彰・長寿祝金・死亡見舞金……………	20
財産目録・特別積立金(債券)……………	13	受賞おめでとうございます・長寿のお祝い贈呈…	21
法定積立金算出基礎・算出方法……………	14	健康家庭の表彰……………	21
一般会計現金預金残高(平成30年3月31日)……………	14	組合ホームページをご活用ください……………	22
平成30年度保険料所得割料率……………	14	ウォーキングチャレンジに参加しよう……………	12
年度別特定被保険者数・特定保険者数推移……………	15	人間ドック・脳ドック・がん検診・特定健診	
保険給付の状況27～29年度……………	16	契約指定病院等一覧…	23
療養給付費の比較・高額療養費の比較……………	17		

北海道薬剤師国民健康保険組合

40歳
になったら

特定健診・特定保健指導

受けよう！年に一度の健康チェック

健康診断だ！！
ネコに
ネコむ



年に1回
お招きします。

特定健診は40～74歳のすべての方が対象です。

北海道・市町村(広域連合)国民健康保険
国民健康保険組合・北海道国民健康保険団体連合会

北海道薬剤師国民健康保険組合 平成30年度 第1回組合会

日時：平成30年7月29日(日) 午後1時～

場所：センチュリーロイヤルホテル

20階 ノープル

出席：組合会議員25名(表決書提出5名)

役員：11名(全員出席)

オブザーバー：釧路支部幹事1名

原田利直理事より開会の挨拶があり、続いて物故者を追悼し、全員起立をして黙祷を捧げた。

そして組合会議員の出席者数を確認し、宮井裕之理事長より挨拶が行われた。

原田利直理事より開会の挨拶

皆さん、おはようございます。すっかり北海道も夏といえますか暑さが全国に負けないくらい、30℃くらいになったという話も聞いております。西日本の方では、再度の台風襲来でかなりひどい状況ではないかと、こんな風に思っております。まだ前の事態も回復しないうちに、このような形で台風が来ている本当に大変なことだとそのように思っています。また北海道はあと4、5年もすれば平均気温が30℃くらいになるのかなと。これもまた慣れないですけども。おかげさまで函館は両側海が近いものですから割



原田利直理事



物故者を追悼し黙祷

と過ごしやすい。25、26℃くらいで現在もそのような程度です。

本日は、これから平成30年度第1回組合会を開催いたします。先生方にはどうぞ慎重審議の方どうぞよろしくお願いいたします。

宮井裕之理事長より挨拶



宮井裕之理事長

こんにちは。大変好天の中ですが、気温が上がっている中、またお休みの中、ご参集をいただきまして高い席からではございますけれども心より感謝申し上げます。先程、原田理事からのご挨拶にもありましたが、先般の災害、大災害ですね、中国・四国を襲った災害、これに関しましてこちらの事務局の方から中四国薬剤師国保組合、また広島県薬剤師国保組合へ確認させていただきました。残念ながら岡山県の倉敷市の組合員さんがお亡くなりになったということを知っております。全国の薬剤師国保組合のご意向も含めながら、改めてお見舞いを申し上げていきたいと考えております。

さて、最近の我々を取り巻く環境でございますけれども、国は昭和36年に国民皆保険制度をスタートさせまして現在に至っております。これは世界に冠たるという常に冠が付く訳ですけども、そこを維持することを前提にして、しかし最近の少子高齢化に伴っての人口減とそれからそこにかかる医療費のことと、これをなんとか両立させなければならないという中で、国では様々な施策を打っていることはご存じの通りでございます。

最近では2040年、これは今でも言われていますけれども、2025年、全ての団塊の世代が後期高齢者になる年、それから団塊ジュニアが全て65歳以上の高齢者になる年で、高齢者人口がピークを迎え

るといふ2040年ですね。ここを一つのターゲットと見据えて様々なことを我々保険者にもそれから現場での医療機関、もちろん薬局、病院、クリニックといった所にも両面で色々と施策を出してきております。その中で大きくは医療費適正化事業と保健事業、これも良く皆さんご存じの通りだと思いますが、医療費適正化事業では、数字として分かりやすいのは、ジェネリック医薬品の使用率を多くしましょうということで、医療費を削減ということですね。それから保健事業ですが、ここはちょっと馴染みがないかもしれませんが我々保険者に関しては、データヘルス計画の策定ということが具体的に示されております。これはレセプト情報と健診情報、こういうデータを保険組合、また市町村国保もそうですが一番集まるでしょう。とデータを持っているよね。ということで、慢性病、また生活習慣病、ここを重症化しないように保健指導をしっかり徹底してやりなさい。ということが保険者である我々にやって当たり前という方向で示されてきております。我々保険者はただ保険料を集めてそして医療給付をするだけでは駄目だよ。と、はっきり厚労省もそういう発言をしております。これは形を変えるとどこかで聞いたようなフレーズかなという風にも思えます。現場の薬局では処方箋を応需して薬を出すだけでは役に立たんよということなのですね。そういう中で現場の薬局では色々と健康づくりということにもしっかり地域の中の薬局として関わって行きなさい。と数年前から言われてきています。だから両面ですね、今、国で考えているのは。

本日これから決算のご報告等をいたしますが、私の方から少し触りのお話をさせていただきたいと思っております。今、触れた保健事業、色々な事業に関してかかる経費というのがどんどん増えており



札幌支部 堀江伸男組合会議員

ます。ただそれだけが全ての原因ではございません。ただ29年度の決算は余りお話ししたくないのですが、単年度で5,200万円の赤字という結果に終わっております。この5年間で最大の赤字という結果でございます。ここに蓋をしてということではもちろんございませんのでこれからもう少し触れていきますが、まず被保険者、組合員さんですね。ここが減少していると通常全体のパイが少し減ってくると医療費もそれに伴って少なくなるだろうということなのですが、実はそうではなくて被保険者は減ってきているのだけれども一昨年度の28年度の保険給付費と比べて3,000万円ほど増加しております。これは分析してみますと、それが100%全てではないのですが、高齢化に伴った整形外科関連の手術、がんの治療など先進医療ですね。先進医療は当然のことながら高額ですから結果として給付費が伸びたということなのだと思います。それからもう一つ、これも被保険者が減るよりは、維持または伸びていくという方が組合維持にとっては大切な事ですが、新たに加入してくる被保険者がほとんど特定被保険者です。現状を申しますと全被保険者の53%が特定被保険者ということになっております。これはどういうことかといいますと、いわゆる特定被保険者に対する国の補助率というのが13%だけなのですね。対して協会けんぽに対する国庫補助率というのは16.4%です。ですから、協会けんぽよりも3.4%低いのです。この所を黙って指を加えて見ている訳にはいきませんので、全業連を通じて是正をしてくれということで運動しております。

更に、後期高齢者支援金と介護納付金、これも毎年負担額が増えております。これは国から言われる金額を負担しなければいけないので当然待ったなしで行っておりますが、昨年度は段階的に、介護保険料について上げさせていただきました。ただこの上げさせていただいた金額の全てが国から求められている介護納付金の額に合致しているかというところはまだまだ、まだぐらいですかね。不足しているのです。ですからそのところは国から求められている金額を100%組合員さんに負担していただいているのではなくて今組合のそういう一般会計のみならず何とかやりくりして、そのところを支払っているという状況でございます。

30年度は、今年度ですね。医療分保険料、介護

保険料、それから後期高齢者支援金保険料を値上げさせていただいて、ほぼほぼ国への納付金に近づいてきているという予測をしております。

そして今年3月開催の組合会で別途積立金の1億500万円、これを一般会計に繰り入れさせていただくということでご承認いただきました。現在、第2四半期に入っておりますが、安定的に事業運営を行っているということを、まずはご報告させていただきたいと思っております。

我々の組合は特に利益追求団体では当然ありませんので、保険料を過剰に組合員さんに負荷してそれを預金に積み立てていくなどという考え方はありません。あくまでも組合員の皆様に納得をしていただける保険料、これはもちろん高額療養費等の準備も含めて、預金関係とバランスを見ながら運営をしていきたいと考えております。

保健事業については、先ほど少し触れましたけれども特定健診に関しましては一昨年よりも若干増えて38.3%という結果に終わっています。ただ、これについては国の求める目標値が70%ですから、まだまだほど遠いということでございます。特定健診とがん検診ですが、ここは全道で3ヵ所しか対がん協会がないので、なじみのない地域もございますけれどもそういったような少しでも組合員さんが受診の動機づけになるようなことを進めていきたいと思っております。これ以上は、少し長くなり過ぎますのでここで終わりたいと思っておりますが、本日は報告、議案について多くの質問、そしてご協議をいただき、何とか提案等については、ご承認をいただきたいと考えております。どうかよろしくお願い申し上げます。

次いで、直江守議長、中谷正樹副議長が壇上の席につき直江議長の進行により議事に入った。議案事項として、議案第1号平成29年度事業報告を柳瀬義博理事より、議案第2号平成29年度歳入歳出決算書及び財産目録について網谷健一理事、平成29年度決算監査報告を藤田富士子監事より、議案第3号平成29年度決算剰余金処分(案)について伊藤雅實理事より説明があり、その他として全薬連健康ポイント事業について、第2期データヘルス計画書については事務局より説明された。質疑事項では、南空知支部小菅支部長より全薬連健康ポイントについてご提案のご意見をいただいた。



直江守議長

中谷正樹副議長

審議事項議案第1号～第3号までそれぞれ質疑、意見を経て挙手過半数ですべて原案どおり可決・承認された。

最後に田所厚義常務理事より閉会の挨拶が行われた。

田所厚義常務理事より

長い時間どうもありがとうございました。数年、常務理事をやっています先ほどご説明のような色々な会議がありますね。それに出て少し感じたことを説明しておきますけれど、



田所厚義常務理事

2点ぐらいあるのですが、第1点は、各組合の例えば薬剤師国保だけでなく、色々な組合があるのですけれどもみんな悩んでいるのですね。医師会の国保さんも開業医の先生ということでだんだん高齢化によって被保険者数が少なく悩んでいるのですね。これを今後どういう風になっていくのかというのは非常に各会議で毎回話題になっていますけれども結論的なものは出ないですね。

それと第2番目ですけれどもこれは私の個人的な意見なのですが、最終的には先ほどの会議を見てもみんな政治に絡んでくるのですね。もう必ず政治。しかも残念ながら野党は当てにならないですね。私なんかもどちらかというとりべらるな方ですから、批判的なのですけれども今回、来年の夏ですか参議院選でぜひやっぱり薬業界から議員を一人出さないと、医師、歯科医師、看護師も数名ずつ議員を出しているのです。気に入らないけれ



役員席

ども出さなきゃ何ともならないのですね。

我々の税金を使っていますのでぜひ皆さん方も協力していただきたいと思うのですね。

それで我々はどうしてもこの健康保険組合というのは互助会でございます。私は高齢者の仲間に入っていますけれども、やっぱりお互いに助け合わなきゃならんというか、ぜひ健全な、発展というよりも維持しなきゃならない時期に来ていると思うのですね。ですから本日組合会に出席していただいた組合会議員の先生方、ぜひ組合を維持しなきゃならないという私ども執行部と事務局の立場でございますので、ぜひご協力していただきたいと思います。また、本日は大変気候も非常に不安定なところでございますけれども、ご出席いただきまして貴重なご意見ありがとうございます。我々も宮井理事長を中心にして頑張っていきますのでどうかご協力よろしくをお願いいたします。

* 議事は次のとおりです。

審議事項

- 議案第 1 号 平成29年度事業報告
柳瀬義博理事
- 第 2 号 歳入歳出決算及び財産目録
網谷健一理事
平成28年度決算監査報告
藤田富士子監事
- 第 3 号 平成29年度決算剰余金処分(案)
伊藤雅實理事

その他

- 全薬連 健康ポイント事業について
- 第 2 期データヘルス計画について 事務局



釧路支部
徳田宏司幹事



野田敏宏理事



函館支部
出林秀男支部長
中村孝雄
組合会議員
旭川支部
村本純一支部長



旭川支部
村本純一支部長
松田精治
組合会議員
河合良明
組合会議員



室蘭支部
樋口篤支部長
後志支部
松井麻由子支部長



南空知支部
小菅弘和支部長



網走支部
北畠正光支部長



柳瀬義博理事



網谷健一理事



伊藤雅實理事



藤田富士子監事

平成29年度決算監査報告

平成30年6月11日

北海道薬剤師国民健康保険組合
理事長 宮井裕之殿

国民健康保険法施行令第23条第1項の規定に基づき、平成29年度組合の事務、執行及び諸帳簿並びに諸証拠書類を監査した結果、正確かつ適正であることを認めましたので報告いたします。

監事 藤田富士子 印
永田経一 印

■ 公示 第 361 号 ■

平成29年度歳入歳出決算について

平成29年度歳入歳出決算について、平成30年7月29日開催の平成30年度第1回組合会において原案どおり承認を得たので公示する。

平成30年7月30日
(11・12頁参照)

北海道薬剤師国民健康保険組合
理事長 宮井裕之

事業者健診データご提供のお願い

組合員の皆様に健康サポート及び特定健診受診率向上のために、**特定健診受診券を使わず**に事業所様独自が行っている事業者健診のデータのご提供のご協力をお願いいたします。

データをいただきましたら、心ばかりの**お礼として1,000円程度のギフト券を該当組合員様へ**お送りいたします。

詳細はお手数ですが、組合までご連絡くださいますようお願いいたします。

TEL. 011-812-1611



北海道薬剤師国民健康保険組合

平成29年度 事業報告書

(平成30年7月29日組合会)

平成29年度事業は、平成29年3月5日に開催されました組合会においてご承認いただきました事業計画に基づき執行いたしました。平成30年3月末(会計については平成30年5月末)で平成29年度事業が終了いたしましたのでご報告いたします。

1. 被保険者について

29年度は広報活動として27年度にも行いました北海道薬学大会での広報活動、新しくはホームページの開設や道薬誌に組合のリーフレットを2回ほど同封させていただきました。リーフレットの方は、反応も早く問い合わせもあり、市町村国保に加入されている方々等が組合の方へ数十名ほど加入していただきました。

ですが個店の廃業、従業員の減少等の理由で被保険者の減少傾向は止まらず28年度末は1,645名でしたが29年度末は1,638名と7名ほど減少しております。

そして国庫補助率が13%と低い特定被保険者数は28年度末より1名増え868名となっております。被保険者に対する特定被保険者の割合は、53%と全体の半数以上を占めていて毎年少しずつ上昇しており、法人事業所数の多いすべての薬剤師国保組合の大きな懸念材料となっているところです。

2. 財政状況について

歳入について

【国民健康保険料】

今年度介護保険料を月額1千円の値上げをさせていただきました。被保険者数は昨年より減少しておりますが、29年度保険料収入は306,912,340円で前年度より4,452,480円増収しており、対前年比100.21%となっております。歳入の占める保険料総額も52.71%と歳入の半分以上を占めています。

【国庫支出金】

144,349,765円となっております前年度より18,243,644円増収し対前年比114.47%となっております。こ

ちらは29年度の療養給付費が増嵩したため、3月の追加交付分が5,600万円ほど入り前年度より増収しました。しかし28年度から定率の国庫補助率が5年かけて段階的に見直され、29年度は30.2%になり27年度の32%から下がっています。

それと国庫補助率が13%と低い特定被保険者の割合が53%と被保険者全体の半数を占めており、そちらも増加傾向にあるため国庫補助金が徐々に減収する見込みであり、30年度からは保険料を値上げしております。こちらは全体の歳入の24.79%を占めております。

【前期高齢者交付金】

21,430,528円と28年度は0円で、さらに返還金が3,012,037円ほどありましたので、前年度よりかなり増収いたしました。こちらは概算交付額を2年後に精算する仕組みにより毎年交付額が大きく異なる状況となっております。

【共同事業交付金】

14,832,000円と前年度より8,492,000円増収しており、対前年比233.94%となっております。

こちらの交付金は、医療費が100万円以上のレセプトに対し、全国の国保組合で支え合う仕組みですが、拠出額は12,563,000円でしたので交付額の方が多く2,269,000円ほど助かりました。

【繰入金】

今年度は、28年度の決算終了後の剰余金も減ってきたため円滑な事業運営を行うにあたって平成29年7月30日の組合会にてご承認をいただき、別途積立金より2,500万円ほど取り崩し一般会計へ繰り入れをしております。

【繰越金】

28年度は27年分決算として106,739,810円を繰越すことができたのですが、29年度は28年度決算として66,186,621円の繰越しとなっております。

歳入合計は582,257,750円と前年度より16,554,806円ほど増収しており対前年比102.93%となりました。

歳出状況について

【組合会費】

7,688,979円と前年度より598,557円削減され、対前年比92.78%の支出となっております。

【総務費】

40,833,650円と前年度より2,699,144円削減され、対前年比93.80%の支出となっております。28年度はマイナンバー制度に対応するシステム機器購入等があったため、29年度より少し多かったと思われれます。こちらのマイナンバー制度に対応するものについては国庫補助金が交付されております。

【保険給付】

309,676,252円で、平成29年度は被保険者数が7名ほど減少しているにも関わらず前年度273,591,912円より36,084,340円と毎月300万円ほど増嵩している計算となっております。療養諸費、高額療養費どちらも前年度を上回っており、対前年比114.47%となっております。

被保険者数が減少しているにもかかわらず給付が上昇しているのには、高齢化とともに医療の高度化が要因と思われ、一人当たりに対する医療費が増加しているためと思われれます。

【後期高齢者支援金等】

94,978,573円で前年度より10,498,003円増加しており、対前年比112.43%となっております。後期高齢者の医療費はこの後期高齢者支援金、後期高齢者の保険料、公費、患者負担で支えております。

【介護納付金】

46,259,013円と前年度より6,454,565円増加しており、対前年比116.22%となっております。

介護給付費もこの介護納付金(第2号被保険者保険料)、第1号被保険者保険料、公費、患者負担で支えております。

【保健事業費】

13,750,150円で前年度は13,478,741円で271,409円増加しておりますが、ほぼ昨年と同額で終了しております。平成27年に保険者努力支援制度が創設され、30年度から国保組合の保険者インセンティブ制度が始まっております。給付の適正化や健康づくりの取組、糖尿病等の重症化予防の取組が求められております。国からの国庫補助が出る事業もありますので、こちらも取組んでまいりたいと思っております。

【諸支出金】

国庫補助金の返還金15,058,974円で前年度より270,957円減額となりました。

こちらは28年度にいただきました国庫補助金を29年度に実績報告し、生じた返還金となっております。

ます。ここ4～5年は毎年返還金が生じておりません。

歳出合計は546,455,843円で対前年比109.40%と46,939,520円歳出が増額しております。

平成29年度歳入・歳出の差引残高は35,801,907円となり、歳入の前年度繰越金66,186,621円、繰入金25,290,000円、歳出の基金積立金3,450,000円を除く平成29年度単年度としては、52,224,714円のマイナスとなり前年度の赤字額34,332,189円を上回る赤字額となってしまいました。

歳入は予算に対し10,606,750円上回る収入で予算額101.86%となり、歳出は予算より25,195,157円下回り対前年比95.59%となりました。

平成25年度から続いている単年度の赤字ですが、29年度もまた赤字となってしまう赤字幅が最も大きい50,000,000円台となってしまいました。

要因としては、やはり保険給付費の増加が大きな要因と思われれます。医科入院の入院日数は年々医療の高度化と共に短くなってきましたが、反対に手術費用がかなり高額になってきております。

60代～70代の整形外科手術やがん治療、国から指定されている難病の治療も増えてきております。30年度から国民健康保険料を値上げいたしました。8月から70歳以上の高額療養費の制度改正もありますので、30年度は赤字幅が少しでも改善されればと思っております。

3. 保健事業について

(1) 人間ドック脳ドック利用状況について

28年度利用者数は222名の補助額は7,376,984円、29年度利用者数は236名の補助額7,962,605円となっております。被保険者数は減少していますが、29年度の受検者数割合は13.8%と28年度より1%近く増えています。10月から対がん協会とも契約し、人間ドックの契約病院を増やしており1名受検していただいております。

(2) 特定健診・特定保健指導実施状況について

特定健診については、平成28年度は対象者数921名に対し、実施者数347名で受診率37.7%となり、平成20年度より健診が始まって以来最高の受診率

でしたが、平成29年度はさらに対象者数906名に対し、実施者数347名の受診率38.3%となりまして昨年より上げることができました。

今年度は組合員様から事業主健診の結果を提出して戴いたり、対がん協会とがん検診と特定健診とのセット健診などを契約、薬事会館で日曜健診の実施もいたしました。今後も受診率の向上を目指して取組んでまいります。

特定保健指導についても、こちらも毎年中々利用率が上がらないのですが、人間ドックを契約している医療機関数ヵ所と個別に保健指導契約をいたしました。

人間ドック受診後に保健指導に該当していれば、同じ医療機関で引き続き保健指導もできます。1名ほど人間ドック受検後に同じ医療機関で特定保健指導まで行っていただけました。

今後も特定健診、特定保健指導の受診率の向上を目指して取組んでまいります。

(3) 赤ちゃんとママ社の育児誌の配付として

組合の被保険者の方が出産した場合、赤ちゃんとママ社の育児誌を配付しています。

月刊誌「赤ちゃんとママ」を1年間、季刊誌「1. 2. 3. 歳」を春・夏・秋・冬と3歳になるまで配付しております。29年度配付数は、月刊誌7名、季刊誌25名で82,291円となっています。

(4) 長寿祝金の贈呈について

平成28年度は全部で23件、支払額は790,000円、平成29年度は16件で、支払額は500,000円となっています。

(5) 死亡見舞金の支給について

後期組合員が亡くなられた場合、遺族に対し70,000円を支給します。

平成28年度は3件で210,000円、29年度は、4件の280,000円となっています。

(6) 健康家庭表彰について

前年度被保険者証を使用せず、特定健診対象者は特定健診を受診していただいた世帯を対象に記念品を毎年10月に贈呈しています。

平成28年度は35世帯で支払額は支払額420,000円、29年度は34世帯で支払額420,000円と同額となっており、ギフト券の宅配料は10,022円です。

(7) 医療費通知について

平成29年度は6月 829通(1, 2, 3月診療分)
9月 815通(4, 5, 6, 月診療) 12月 813通
(7, 8, 9月診療)で、3月 842通(10, 11, 12月診療分)合計4回通知しました。印刷費用28,501円(2回分無償)、郵送料216,333円となっております。

(8) ジェネリック差額通知について

平成29年度は4月 115通(1月診療分)を送付、8月 120通(5月診療)を、12月 145通(9月診療)を送付し、合計3回通知いたしました。共同電算処理手数料として国保連合会へ4,770円、郵送料28,096円となりました。最新の利用率は67.8%までになっており、国の目標値として平成32年9月までに利用率80%ということで、引き続き差額通知の送付またはリーフレットの送付などで周知していきたいと思っております。

ニセコひらふ泉郷レンタルコテージ

国内外から注目されるリゾート地ニセコにある1棟貸切コテージ型宿泊施設

組合員向け優待割引のご案内

泉郷公式ホームページ掲載の正規宿泊料金のうち、シーズンカレンダー記載の

A 期間 (GA/WA) は 10% 割引、 B 期間 (GB/WB) は 5% 割引

※S 期間は割引除外です。

※ご予約の際、上記割引を使用する旨をお伝えください。

またチェックインの際は組合員証または健康保険証をご提示下さい。

公式ホームページ : <http://www.izumikyo.co.jp>

TEL:0136-23-3301 E-mail:rental@nisekoizumikyo.com

NISEKO
IZUMIKYO
泉郷レンタルコテージ



北海道薬剤師国民健康保険組合
平成29年度 歳入歳出決算書

歳入の部

(単位：円)

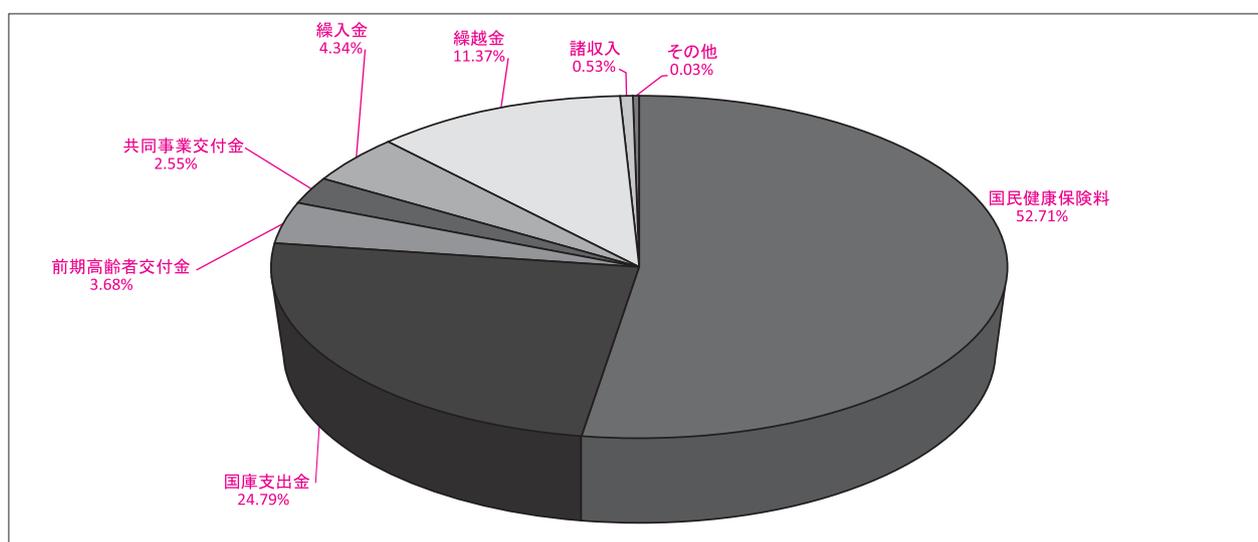
款	項	予算現額	調定済額	収入済額	不納欠損額	収入未済額	予算現額対収入
1 国民健康保険料	1 国民健康保険料	306,270,000	307,074,060	306,912,340	0	161,720	100.21%
2 使用料及び手数料	1 手数料	5,000	3,960	3,480	0	480	69.60
3 国庫支出金		134,737,000	144,349,765	144,349,765	0	0	107.13
	1 国庫負担金	2,501,000	2,549,437	2,549,437	0	0	101.94
	2 国庫補助金	132,236,000	141,800,328	141,800,328	0	0	107.23
4 前期高齢者交付金	1 前期高齢者交付金	21,431,000	21,430,528	21,430,528	0	0	100.00
5 道支出金	1 道費補助金	1,000	0	0	0	0	0.00
6 共同事業交付金	1 共同事業交付金	12,000,000	14,832,000	14,832,000	0	0	123.60
7 財産収入		191,000	182,198	182,198	0	0	95.39
	1 財産運用収入	190,000	182,198	182,198	0	0	95.89
	2 財産売払収入	1,000	0	0	0	0	0.00
8 繰入金	1 基金繰入金	25,303,000	25,290,000	25,290,000	0	0	99.95
9 繰越金	1 繰越金	68,000,000	66,186,621	66,186,621	0	0	97.33
10 諸収入		3,713,000	3,070,818	3,070,818	0	0	82.70
	1 加算金延滞金及び過怠金	12,000	0	0	0	0	0.00
	2 預金利子	1,000	0	0	0	0	0.00
	3 雑収入	3,700,000	3,070,818	3,070,818	0	0	83.00
歳入合計		571,651,000	582,419,950	582,257,750	0	162,200	101.86

平成29年度歳入歳出

歳入

単位：千円

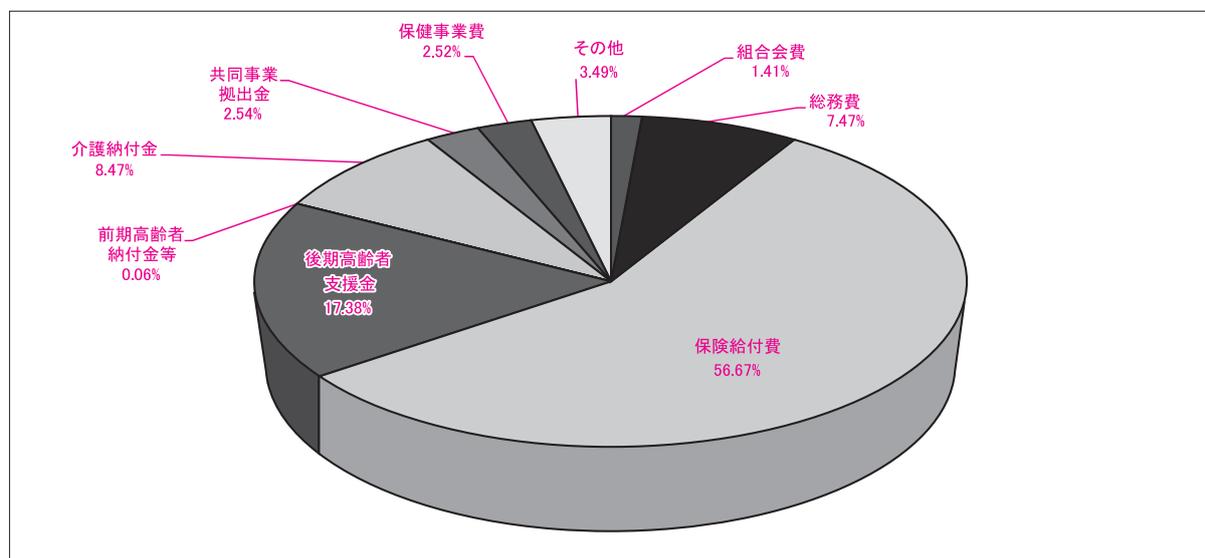
歳入	国民健康保険料	国庫支出金	前期高齢者	共同事業交付金	繰入金	繰越金	諸収入	その他	合計
	306,912	144,350	21,431	14,832	25,290	66,187	3,071	185	582,258
比率	52.71%	24.79%	3.68%	2.55%	4.34%	11.37%	0.53%	0.03%	100%



歳 出

単位：千円

歳 出	組合会費	総務費	保険給付費	後期高齢者 支 援 金	前期高齢者 納 付 金 等	老人保健 抛 出 金	介護納付金	共同事業 抛 出 金	保健事業費	そ の 他	合 計
	7,689	40,834	309,676	94,979	336	2	46,259	13,868	13,750	19,063	546,456
比 率	1.41%	7.47%	56.67%	17.38%	0.06%	0.00%	8.47%	2.54%	2.52%	3.49%	100%



北海道薬剤師国民健康保険組合財産目録

平成30年3月31日現在

(単位：円)

積立金

種 別	平成28年度 末 現 在	平成28年度 剰余金処分	平成29年度 積 立 金	平成29年度 利子・配当金	平成29年度 組合会計へ	平成29年度 使 用 額	合 計
特 別 積 立 金	46,963,661	0	0	182,198	-182,198	0	46,963,661
支 払 準 備 積 立 金	178,578,051	0	0	16,895	-16,895	0	178,578,051
役員議員慰労金 積 立 金	4,340,903	0	840,000	0	0	-290,000	4,890,903
職員退職積立金	11,941,310	0	2,610,000	0	0	0	14,551,310
別 途 積 立 金	180,000,000	0	0	8,303	-8,303	-25,000,000	155,000,000
合 計	421,823,925	0	3,450,000	207,396	-207,396	-25,290,000	399,983,925

特別積立金(債券)

(単位：円)

債 券 の 種 類	額 面	利 率	償 還 日
北海道(10年)平成28年度第6回公募公債	10,000,000円	0.07%	令和8年8月31日
第158回利付国債(20年)	30,000,000円	0.5%	令和18年9月20日

法定積立金算出基礎

区 分	積立金基準額	現在保有額	差 引 額	保 有 率
特 別 積 立 金	36,871,335円	46,963,661円	10,092,326円	127%
支 払 準 備 積 立 金	16,899,828円	178,578,051円	161,678,223円	1056%

算出方法

特別積立金 (国保法施行令第19条)	$\{29\text{年度保険給付費用} - 29\text{年度保険給付費(補助金)} \times 2/12\} + \{(29\text{年度前期高齢者納付金} + 29\text{年度後期高齢者支援金(納付金)} + 29\text{年度介護納付金}) - (29\text{年度前期高齢者納付金(補助金)} + 29\text{年度後期高齢者支援金(補助金)} + 29\text{年度介護納付金(補助金)}) \times 1/12\}$
支払準備積立金 (国保法施行令第20条)	$\{27.28.29\text{年度の保険給付費用} - 27.28.29\text{年度保険給付費(補助金)}\} \div 3 \times 1/12$

一般会計(現金預金高)

平成30年3月31日

種 別	平成28年度末 現在高 (円)	平成29年度 増減 (円)	平成29年度 現在高 (円)	摘 要
現 金	119,218	1,473	120,691	
普通預金	105,030,310	-22,141,215	82,889,095	各銀行普通預金(無利息型預金)
合 計	105,149,528	-22,139,742	83,009,786	—————

平成30年度 保険料所得割 料率について

■ 公示 第 362 号 ■

北海道薬剤師国民健康保険組規約第18条第2項第一号に規定する平成30年度保険料所得割料率は次のとおり定める。

所得割料率 千分の 62

平成30年 9 月 1 日

北海道薬剤師国民健康保険組合
理 事 長 宮 井 裕 之

- 一般組合員の保険料は、前年の総所得金額に応じて所得割料率を決定し、毎年10月に確定します。10月に確定した保険料と暫定保険料(4月～9月分)との差額は、10月以降の保険料で調整します。
- 総所得金額には、給与、事業所得のほか、配当、不動産、雑(年金等)所得等も含まれます。総所得金額の上限は809万円です。
- 組合員に雇用される一般従業員の保険料は、「月額基本給×10」を総所得金額とみなして算定します。
- 後期高齢者組合員世帯の保険料に所得割はありません。家族数に応じた一定額となります。

年度別特定被保険者数

	被保険者数(A)	特定被保険者数(B)	比率(B/A)
H22年度末	1,979人	719人	36%
H23年度末	1,941人	754人	39%
H24年度末	1,916人	797人	42%
H25年度末	1,764人	808人	46%
H26年度末	1,744人	845人	48%
H27年度末	1,742人	877人	50%
H28年度末	1,645人	867人	53%
H29年度末	1,638人	868人	53%

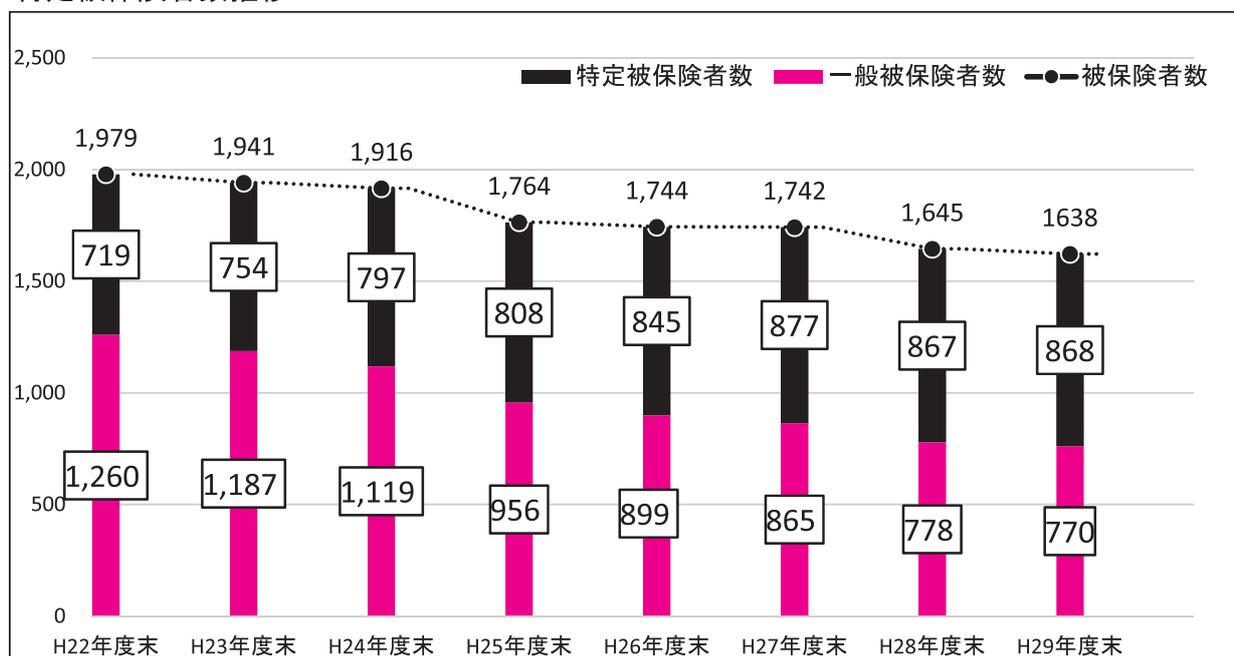
特定被保険者・・・平成9年9月1日以降に健康保険の適用除外承認を受けて新規に組合に加入した組合員及びその家族

医療給付費の13%(後期高齢者支援金・介護納付金は16.1% ※1)

※1 27年度→16.4%、28年度→16.3%、29年度→16.1%、30年度→16.0%

段階的に減少していきます。

特定被保険者数推移



	H22年度末	H23年度末	H24年度末	H25年度末	H26年度末	H27年度末	H28年度末	H29年度末
被保険者数	1,979	1,941	1,916	1,764	1,744	1,742	1,645	1,638
特定被保険者数	719	754	797	808	845	877	867	868
一般被保険者数	1,260	1,187	1,119	956	899	865	778	770

国庫補助(療養給付費補助金定率分)

一般被保険者 → 医療給付費の30.4% ※2

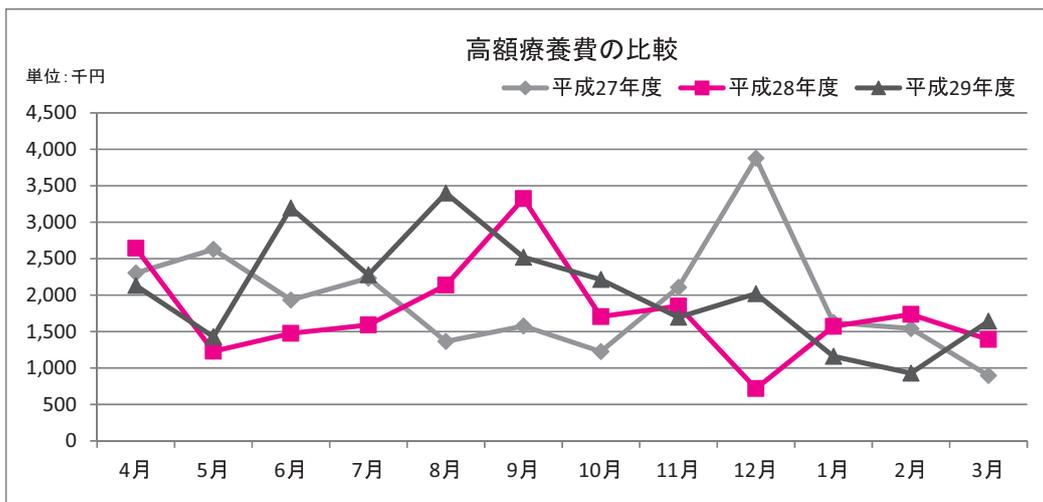
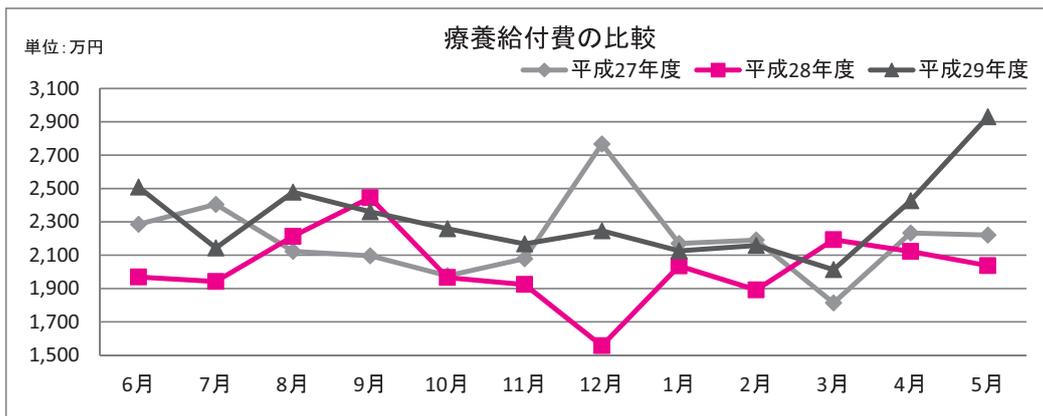
※2 27年度→32%、28年度→31.2%、29年度→30.4%、30年度→29.6%

段階的に減少していきます。

保険給付の状況

保険給付費の支出状況

上 中 下		27年度		28年度		29年度		平成30年5月31日現在(単位:円)			
支払月	療養給付費	療 養 費	審査支払 手数料	高額療養費	高額支払内容	高額介護 合算療養費	移送費	出産育児 一時金	出産育児 一時金手数料	葬 祭 費	合 計
4		135,595	79,960	2,304,051		0	0	1,717,663	840	0	4,238,109
		185,628	85,273	2,643,832		0	0	60,000	0	0	2,974,733
		166,605	74,908	2,132,533		0	0	194,040	0	0	2,568,086
5		193,724	84,290	2,628,774		0	0	270,450	210	0	3,177,448
		159,663	89,301	1,229,567		0	0	870,000	420	70,000	2,418,951
		193,884	83,354	1,429,014		0	0	675,960	420	0	2,382,632
6	22,851,029	278,814	85,763	1,933,997		0	0	30,000	0	0	25,179,603
	19,690,856	187,567	81,523	1,475,932		0	0	450,000	0	100,000	21,985,878
	25,084,577	192,811	77,768	3,194,948	クモ膜下出血(60代・女性) 4,367,120	0	0	30,000	0	0	28,580,104
7	24,045,157	192,295	81,385	2,232,956		0	0	420,000	210	100,000	27,072,003
	19,423,182	231,426	81,835	1,590,181		0	0	450,000	210	100,000	21,876,834
	21,435,322	221,067	80,712	2,277,458	直腸癌(60代・男性) 1,470,010	0	0	450,000	210	0	24,464,769
8	21,233,984	170,537	88,665	1,365,646		0	0	448,960	210	100,000	23,408,002
	22,131,307	146,000	83,579	2,136,719		0	0	450,000	210	100,000	25,047,815
	24,778,099	205,201	83,718	3,399,846	リンパ腫(60代・男性) 2,902,090	0	0	480,000	210	200,000	29,147,074
9	20,964,608	247,888	17,463	1,576,440		0	0	451,040	210	100,000	23,357,649
	24,451,249	196,241	78,702	3,324,314		0	0	1,770,000	840	0	29,821,346
	23,600,686	281,685	84,200	2,519,943	右変形性股関節症(60代・女性) 1,470,480	0	0	0	0	0	26,486,514
10	19,767,042	174,413	78,256	1,225,935		0	0	450,000	0	0	21,695,646
	19,660,384	201,200	81,742	1,704,829		0	0	450,000	210	270,000	22,368,365
	22,587,230	163,463	80,320	2,214,073	リンパ腫(60代・男性) 2,966,110	0	0	0	0	100,000	25,145,086
11	20,788,544	232,475	80,176	2,107,490		0	0	0	0	0	23,208,685
	19,243,800	214,634	80,002	1,849,022		0	0	420,000	210	0	21,807,668
	21,678,277	170,952	81,928	1,696,628	腰椎椎間孔狭窄症(60代・女性) 2,630,880	0	0	450,000	210	0	24,077,995
12	27,673,350	293,358	84,782	3,877,900		0	0	0	0	100,000	32,029,390
	15,565,524	148,245	80,940	718,344		0	0	0	0	0	16,513,053
	22,464,711	258,181	84,254	2,020,100	腰部脊柱管狭窄症(60代・男性) 2,179,100	0	0	450,000	210	0	25,277,456
1	21,700,814	218,205	81,879	1,624,838		0	0	60,000	0	0	23,685,736
	20,356,964	122,704	80,859	1,571,441		0	0	0	0	100,000	22,231,968
	21,261,936	110,617	82,510	1,160,649	右下葉肺癌(60代・男性) 1,735,660	0	0	0	0	0	22,615,712
2	21,908,199	116,924	88,134	1,541,334		0	0	450,000	210	100,000	24,204,801
	18,914,244	145,695	81,254	1,735,214		0	0	123,386	0	100,000	21,099,793
	21,583,930	108,723	86,663	928,806	進行性前立腺癌(70代・男性) 1,107,260	0	0	480,000	210	0	23,188,332
3	18,139,628	352,829	81,431	896,644		0	0	870,000	420	0	20,340,952
	21,933,917	119,643	76,523	1,391,255		0	0	326,614	210	0	23,848,162
	20,132,409	219,917	78,487	1,642,370	右中葉肺癌(60代・女性) 1,989,720	0	0	30,000	0	70,000	22,173,183
4	22,328,539										22,328,539
	21,223,945										21,223,945
	24,265,583				小脳橋角部髄膜腫(60代・女性) 2,223,070						24,265,583
5	22,212,858										22,212,858
	20,373,401										20,373,401
	29,303,726				腰部脊柱管狭窄症(70代・女性) 2,089,900						29,303,726
計	263,613,752	2,607,057	932,184	23,316,005	—	0	0	5,168,113	2,310	500,000	296,139,421
	242,968,773	2,058,646	981,533	21,370,650	—	0	0	5,370,000	2,310	840,000	273,591,912
	278,176,486	2,293,106	978,822	24,616,368	—	0	0	3,240,000	1,470	370,000	309,676,252
29年度 予 算	279,493,000	2,690,000	1,200,000	27,800,000	—	200,000	50,000	6,750,000	5,000	850,000	319,038,000



平成29年度 医療費多額被保険者一覧 (年間)

	支部	年齢	性別	主傷病名	費用額
1	南空知	60代	男	びまん性大細胞型B細胞性リンパ腫	9,994,330
2	札幌	50代	男	上行結腸癌	8,683,560
3	旭川	60代	女	前大脳動脈瘤破裂によるくも膜下出血	7,656,950
4	函館	70代	男	進行性前立腺癌	5,577,030
5	札幌	50代	女	悪性胸膜中皮腫・終末期	5,105,490
6	札幌	60代	男	去勢抵抗性前立腺癌	4,807,350
7	札幌	40代	女	潰瘍性大腸炎	4,403,020
8	室蘭	60代	男	前立腺癌	3,779,980
9	旭川	70代	女	右変形性股関節症	3,348,910
10	南空知	50代	女	卵巣癌	3,274,820
11	函館	60代	男	右下葉肺癌	3,213,210
12	札幌	60代	女	腰椎椎間板性椎間孔狭窄症	2,987,750
13	札幌	60代	男	右上葉肺癌	2,949,730
14	旭川	70代	女	左足関節両果部骨折	2,911,420
15	札幌	60代	女	小脳橋角部髄膜腫	2,791,770

保健事業の状況

ドック利用状況

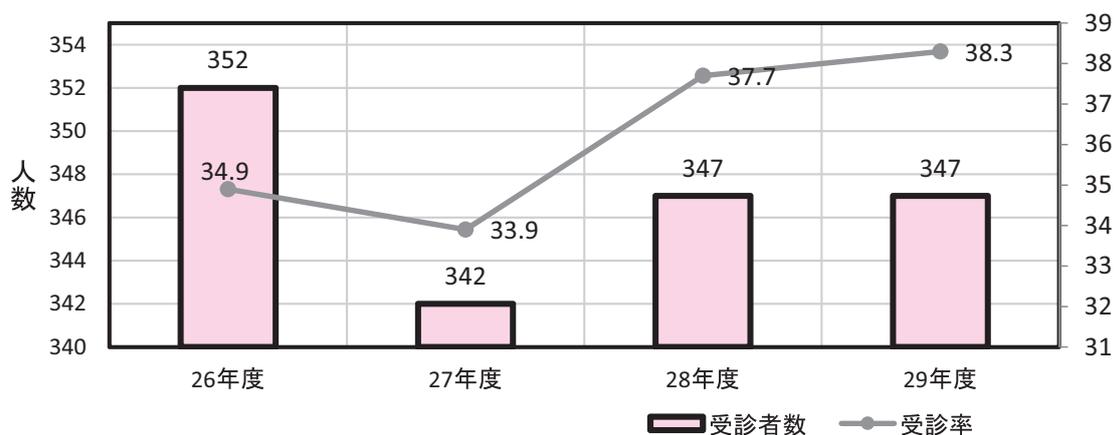
契約機関名	平成28年度		平成29年度		
	件数	組合補助額 (円)	件数	組合補助額 (円)	
JCHO札幌北辰病院	10	283,380	12	362,136	
明日佳札幌健診センター	26	851,600	28	899,280	
溪仁会円山クリニック	75	2,464,980	61	2,005,260	
禎心会さっぽろ北口クリニック（脳ドック）	5	158,280	7	218,520	
北海道循環器病院予防医学センター	44	1,602,280	43	1,594,000	
船員保険北海道健康管理センター	11	404,320	38	1,418,160	
禎心会病院（脳ドック）	2	67,920	2	75,600	
北海道対がん協会札幌がん検診センター	0	0	1	9,230	
北海道済生会小樽病院	0	0	1	11,480	
函館市医師会病院（人間・脳ドック）	3	126,440	1	46,440	
函館五稜郭病院健康管理センター	4	129,120	5	161,400	
函館赤十字病院	0	0	1	29,660	
市立旭川病院	18	502,840	10	291,600	
旭川赤十字病院（人間・脳ドック）	16	494,640	18	560,360	
はらだ病院健康管理センター	2	65,760	1	36,720	
JA北海道厚生連帯広厚生病院	2	83,200	1	40,000	
岩見沢市立総合病院市民健康センター	0	0	1	30,120	
釧路赤十字病院	2	79,920	1	39,960	
釧路労災病院	1	30,120	0	0	
JA北海道厚生連網走厚生病院	1	32,184	1	32,184	
日鋼記念病院健診センター	0	0	1	32,320	
室蘭・登別総合健診センター	0	0	1	30,120	
苫小牧保健センター	0	0	1	38,055	
合 計	組合員	182	6,114,748	198	6,722,856
	その他	40	1,262,236	38	1,239,749
	合 計	222	7,376,984	236	7,962,605

区 分	28年度		29年度	
	人数（人）	割合（％）	人数（人）	割合（％）
組 合 員	1,125	16.2	1,113	17.8
そ の 他	602	6.6	601	6.3
合 計	1,727	12.9	1,714	13.8

特定健診実施状況

	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度※
対象者数	1,008	1,008	921	906
目標率	50%	55%	60%	70%
目標実施者数	504	554	553	634
受診者数	352	342	347	347
受診率(%)	34.9	33.9	37.7	38.3

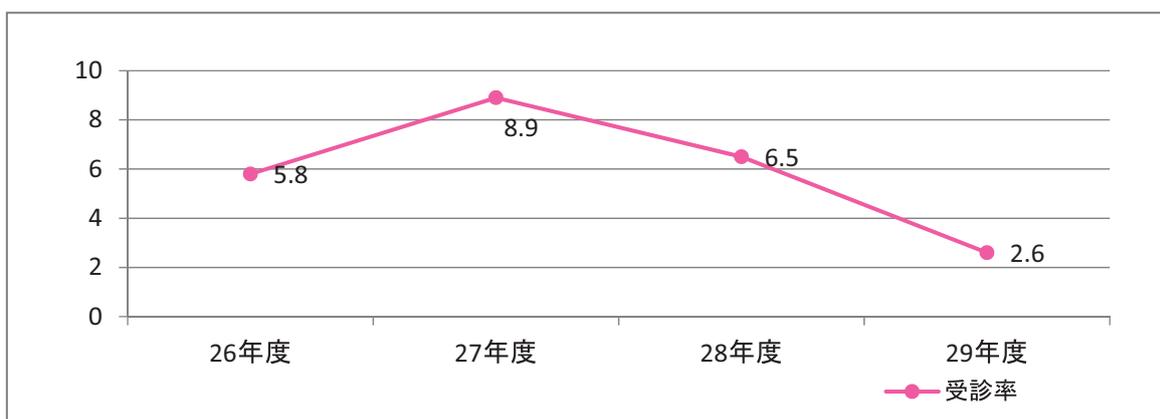
※H29年度はH30年6月末現在



特定保健指導実施状況

	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度※
対象者数	52	45	46	38
目標率	10%	15%	20%	30%
目標実施者数	5	7	9	11
終了者数	3	4	3	1
受診率	5.8	8.9	6.5	2.6

※H29年度はH30年6月末現在

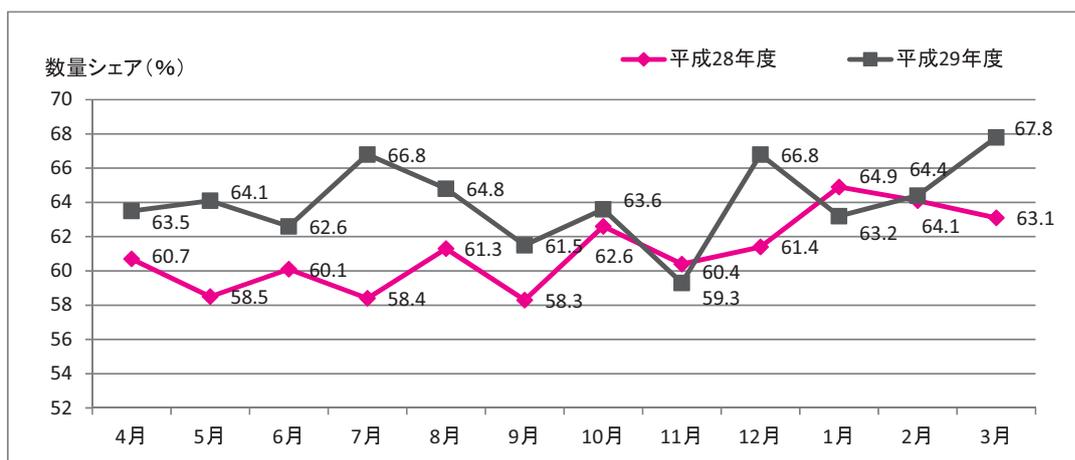


医療費通知の発送

	通知日	通知対象診療月	通知数
第1回	平成29年6月6日	平成29年1月～3月分	829通
第2回	平成29年9月19日	平成29年4月～6月分	815通
第3回	平成29年12月13日	平成29年7月～9月分	813通
第4回	平成30年3月5日	平成29年10月～12月分	842通
総 計			3,299通

ジェネリック差額通知の発送

	通知日	該当調剤月	通知数
第1回	平成29年4月5日	平成29年1月分	115通
第2回	平成29年8月8日	平成29年5月分	120通
第3回	平成29年12月13日	平成29年9月分	145通
総 計			380通



健康家庭表彰

記念品 日専連ギフト券(一人当たり12,000円相当額)

	通知日	1人世帯		2人世帯		3人世帯		合計	
H28年度	平成28年10月7日	35件	420,000円	0件	0円	0件	0円	35件	420,000円
H29年度	平成29年10月5日	33件	396,000円	1件	24,000円	0件	0円	34件	420,000円

長寿祝金

お祝い金 77歳、80歳・・・30,000円 88歳、99歳・・・50,000円

	振込日	77歳		80歳		88歳		99歳		合計	
H28年度	平成28年9月16日	10件	300,000円	8件	240,000円	5件	250,000円	0件	0円	23件	790,000円
H29年度	平成29年9月15日	8件	240,000円	7件	210,000円	1件	50,000円	0件	0円	16件	500,000円

死亡見舞金

1件 70,000円

	件数	金額
H28年度	3件	210,000円
H29年度	4件	280,000円

受賞おめでとうございます

北海道薬剤師国民健康保険組合組合員のなかで次の方が多年の功績により受賞されました。心からお祝い申し上げます。

平成30年度 厚生労働大臣表彰(薬事功労者)

宮井裕之様

(理事長)

元 北海道薬剤師会副会長

平成30年度 北海道社会貢献賞(薬事功労者)

山田壽美子様

(組合会議員)

札幌支部

橋本健司様

北海道薬剤師会理事

稚内支部

平成30年度 長寿のお祝い贈呈

当該年の9月1日を基準として、満77歳・80歳・88歳・99歳に達している組合員に、長寿のお祝いを贈呈いたします。

今年度は下記の方に贈呈しています。

満77歳 5名・満80歳 7名・満88歳 3名・満99歳 0名 計15名

これからもお体をお大切に末永くご健康でお過ごし
くださいますようお願いいたします。



平成30年度 健康家庭の表彰

北海道薬剤師国民健康保険組合に加入の被保険者世帯が健康保持に努め、前年4月1日から当該年3月31日までの1年間、医療機関にかからなかった世帯で、特定健診対象者にあっては、特定健診を受診している世帯について、世帯員1人につき、12,000円相当額の記念品をお送りしています。

今年度は下記の世帯に記念品を贈呈しています。

一人世帯 26世帯・二人世帯 1世帯
三人世帯 2世帯 計29世帯



各種申請用紙もダウンロードできます！

ホームページをご活用ください

組合員皆様の健康と暮らしのお役に立てるよう、各種ご案内やお知らせ等を公開しております。パソコンだけではなく、スマートフォンやタブレットからも見やすい画面で作成しておりますので、是非一度ご覧ください。



組合で行っている保健事業、保険給付についても載せております。人間(脳)ドックの契約病院、特定健診を受診できる医療機関も掲載しております。

保険料のシミュレータもあります。他健康保険との比較にご利用ください！！



北海道薬剤師国保



ホームページアドレス：<http://douyakukokuho.jp/>



人間ドック・脳ドック・がん検診・特定健診契約指定病院等一覧表

- ・組合補助対象者……組合に加入して1年を経過した人
- ・組合補助額………組合員5万円まで 家族4万円まで(オプション検査は別途7千円まで)
- ・組合補助利用………ドック又はがん検診受検の際、組合が発行する受検票が必要となりますので、事前に組合までご連絡ください。(利用は年1回です)

指定病院等名	人間ドック	脳ドック	がん検診	特定健診	住 所	電話番号
JCHO(ジェイコー)札幌北辰病院	○			○	札幌市厚別区厚別中央2条6丁目2-1	011-893-5881
明日佳札幌健診センター	○			○	札幌市中央区南10条西1丁目ホテルライフオート札幌5階	011-531-2226
北海道循環器病院予防医学センター	○			○	札幌市中央区南27条西13丁目	011-552-3375
溪仁会円山クリニック	○			○	札幌市中央区大通西26丁目3-16	011-611-7766
船員保険北海道健康管理センター	○			○	札幌市中央区北2条西1丁目1番地マルチ札幌ビル5階	011-218-1655
禎心会病院		○		○	札幌市東区北33条東1丁目3-1	011-712-1131
禎心会さっぽろ北口クリニック		○		○	札幌市北区北7条西2丁目8-1札幌北ビル2階	011-709-1131
北海道対がん協会 札幌がん検診センター	○		○	○	札幌市東区北26条東14丁目1番15号	011-748-5511
北海道済生会小樽病院	○			○	小樽市築港10番1	0134-25-4321
市立旭川病院	○			○	旭川市金星町1丁目1-65	0166-24-3181
旭川赤十字病院	○	○		○	旭川市曙1条1丁目	0166-22-8111
はらだ病院健康管理センター	○			○	旭川市1条通16丁目右7号	0166-23-2780
丸谷病院	○			○	旭川市4条通5丁目右1号	0166-25-1111
北海道対がん協会 旭川がん検診センター	○		○	○	旭川市末広東2条6丁目6番10号	0166-53-7111
岩見沢市立総合病院市民健康センター	○			○	岩見沢市8条西7丁目	0126-32-0888
深川市立病院	○			○	深川市6条6番1号	0164-22-1101
滝川市立病院	○			○	滝川市大町2丁目2-34	0125-22-4311
函館五稜郭病院健康管理センター	○			○	函館市五稜郭町38番3号	0138-51-2295
函館赤十字病院	○				函館市堀川町6番21号	0138-51-8877
函館市医師会病院	○	○		○	函館市富岡町2丁目 番10号	0138-43-6000
浦河赤十字病院	○			○	浦河郡浦河町東町ちのみ1丁目2-1	0146-22-5111
JA北海道厚生連帯広厚生病院	○				帯広市西14条南10丁目	0155-65-0101
JA北海道厚生連網走厚生病院	○			○	網走市北6条西1丁目	0152-43-3157
北見赤十字病院	○			○	北見市北6条東2丁目	0157-24-3115
釧路中央病院	○			○	釧路市黒金町8丁目3番地	0154-31-2111
釧路赤十字病院	○			○	釧路市新栄町21番14号	0154-22-7171
釧路労災病院	○	○		○	釧路市中園町13番23号	0154-22-7191
釧路脳神経外科病院		○			釧路市芦野1丁目27-1	0154-37-5512
北海道対がん協会 釧路がん検診センター	○		○	○	釧路市愛国東2丁目3番1号	0154-37-3370
日鋼記念病院健診センター	○	○		○	室蘭市新富町1丁目5番13号	0143-25-1333
室蘭・登別総合健診センター	○			○	室蘭市東町4丁目20番6号	0143-45-5759
苫小牧保健センター	○				苫小牧市旭町2丁目9-7	0144-35-0081

注) 特定健診対象者が、特定健診に○印のある指定病院等で人間ドック又はがん検診を受検する場合、健診に特定健診が含まれていますので、併せて特定健診を受診することになります。この場合、改めて特定健診を受診する必要はありません。脳ドックについては、禎心会病院と禎心会さっぽろ北口クリニックの脳ドックが特定健診を含む扱いとなります。



北見ハッカ記念館



北見モイワスポーツランド

写真提供／北見支部